

マイナンバー交付第1号

カードの交付が始まりました

市ではマイナンバーカードの交付を2月5日から開始しました。カード交付の第1号となったのは、菅野俊樹さん（高木）。市役所市民ホールで、高松市長より菅野さんへ交付されました。

マイナンバーカードの交付を希望される場合は、事前の申請が必要です。

カードの交付は予約制で行われ、交付通知書、通知カードのほかに、運転免許証などの本人を確認できるものが必要になります。交付場所は市役所本庁または白沢総合支所のどちらかを指定できます。



高松市長から第1号のカードを受け取る菅野さん（右）

本宮市物産フェア

新宿駅で魅力をPR



大勢の来場者でにぎわう会場

市と本宮産品首都圏販売促進協議会は、2月4日、5日の両日、JR新宿駅西口広場のイベントコーナーを会場に物産フェアを開催し、首都圏の消費者に地場産品と観光をPRしました。市単独の物産フェアは初めての試みです。

会場では特産の白沢とろろ芋や東北協同乳業のヨーグルト、地元のお菓子などが販売されました。

また、春の行楽シーズンに向け、「花と歴史の郷 蛇の鼻」や「四季の里 緑水苑」、「プリンス・ウィリアムズ・パーク」の魅力も紹介しました。

上尾市青少年育成連合会

本宮市の小学校を視察

上尾市青少年育成連合会と同青少年育成推進員協議会の皆さん19人が、本宮市へ視察研修に訪れました。

皆さんは和田小学校を訪れ、児童と一緒に給食を食べ、午後からは、学校の多目的ホールで全校児童87人に「月のうさぎ」や「一休さん」の紙芝居を披露しました。読まれた紙芝居は、学校に贈られ、代表して6年生の渡辺隆巳さんが受け取りました。

小学校を後にした皆さんは、市役所で本宮市青少年育成市民会議の会員と、活発な議論が交わされました。



子どもたちの健全な育成を願い紙芝居を上演

認知症家族に支援を

認知症カフェが開所



開所を祝しテープカットをする関係者

高齢者の5人に1人が認知症という時代を迎え、認知症家庭を支援することを目的に、2月9日、あったかカフェまゆみ（認知症カフェ）が東北病院「まゆみの実」内に開所しました。

カフェはボランティアグループが運営し、認知症家族の情報交換と交流の機会を提供します。会費200円で、コーヒーを飲み、手作りのお菓子を味わうことができ、専門職と認知症サポーターのスタッフが相談に乗ります。毎月第2・第4火曜日の午前10時30分から午後0時30分まで開かれる予定です。

相模女子大学

本宮での農業体験を発表

1月30日、あだち地域農業振興協議会主催による「第18回農業振興大会」が二本松市の安達文化ホールで開催されました。

大会では農業実践活動発表として、本宮市と交流のある相模女子大学の卒業生である本田由香さん（本宮市在住）と健康栄養学科3年の渡辺菜美さんが、「本宮市でのグリーンツーリズム体験発表」と題して、本市で体験したこと（田植えや稲刈り・野菜の収穫などの農作業、放射能対策、農家民宿の方々とのふれあいなど）の発表を行いました。



発表する相模女子大学3年の渡辺さん

長尾さん・根本さん・遠藤さん

統計調査員の皆さん3人が表彰

2月5日、福島県統計功労者表彰式が福島市で開催され、本宮市統計調査員協議会会長の長尾良夫さんが経済産業表彰を、根本秀信さんと遠藤次男さんが県統計協会名誉会長表彰を受賞しました。表彰は長年にわたる統計業務への貢献に対するもので、3人は同日、市役所で高松市長に受賞を報告しました。



右から根本さん、長尾さん、遠藤さん

本宮地区交通安全協会

優良交通安全協会として受賞

1月15日、東京都日比谷公会堂で開催された第56回交通安全国民運動中央大会表彰式において、日ごろの交通事故防止活動の取り組みが認められ、本宮地区交通安全協会が協会組織として受賞されました。



受賞された本宮地区交通安全協会の皆さん

東京もとみや会通信 その10

『わたしの古里』



東京もとみや会 監事
山崎 民夫さん

本宮を離れて、48年がたつ。大きなけがや病気をせず、ここまでこられたことに感謝している。それも、古里で心身を鍛えられたおかげではないかと思う。

四季折々の思い出がある。春は蛇の鼻の満開の桜。夏は阿武隈川で中の橋の中州まで溺れかかりながらも必死に泳ぎ切った川遊び、秋は父が丹精込めた大菊が咲き、山が色づくころの秋まつり。裸神輿で、威勢よく練り歩く姿にたくましさを感じた。冬は日が暮れるまで手がかじかみながら遊んだ竹そり。思い出は尽きない。そして、頭に浮かぶ古里は、上の橋から見える安達太良の雄大な姿、阿武隈川に沿う街並みだ。

還暦を過ぎ、旧あたら会有志と裸神輿に参加した。若い人たちが声を出し合い、寒さを吹き飛ばした。また、浅草で行われた復興市では、本宮から取り寄せた具材で作った「ちゃんこ鍋」を売り、本宮のことを語りあった。古里と関わることができ、うれしく思っている。

入会およびお問い合わせは、下記「東京もとみや会」事務局へ
千葉県柏市南逆井6-3-13 野地 博 ☎04-7175-0517 E:メール hiroshi-nj@jcom.home.ne.jp

こんにちは！市長です vol. 41



本宮市長
高松 義行

「未来へつなごう ふるさと本宮」

皆さん、こんにちは。

立春が過ぎ、どこことなく春の気配が漂う頃となりました。

間もなく、3月11日を迎え、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から5年の歳月が経過いたします。しかしながら、浪江町をはじめとする避難区域では未だに多くの皆様

が避難を余儀なくされ、原子力災害による影響は今もなお大きな不安を残しております。住宅除染については、本宮地区を重点的に実施しており、間もなく青田、岩根地区に入る予定となっております。平成28年度には完了すべく取り組んでおります。また、風評被害対策や健康管理など、まだまだ震災は続いているという事実を風化させては

けません。このような状況を踏まえ、本年も「未来へつなごう」かけがえのないふるさと本宮」をメインテーマに「復興の集い2016」を3月6日に開催し、5年間を一つの区切りと考え復興の取り組みや復興の状況などを市民の皆様と再確認し合うとともに、震災を風化さ

せることなく、明るい未来に向かつてさらなる飛躍を目指す機会にしてまいりたいと考えております。こうした思いを多くの皆様と共有したいと存じますので、ぜひ、ご参加いただければと思います。

さて、新年度の予算編成もようやく形となりました。私たちの「ふるさともとみや」が、未来に向けて発展するまちとしての長期的な展望を持ちながら、もとみや創生を進めていくことが必要であることから、平成28年度のスローガンを「みんなが活躍！未来につながるもとみや創生」としたところでありました。

子どもからお年寄りまで、誰もが笑顔で元気に安心して暮らせる「住んで良かったと思えるもとみや」が実感でき、市民の皆様と共感できることを目標として、スピード感を持って着実な市政運営にあたりたいと思います。

新年度予算は、3月1日から開催の市議会定例会に議案として上程されます。市議会はごなため傍聴できますので、市民の皆様にお出でいただき市政に対するご意見などをいただきました。思います。

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、気候の変わり目でありましたので、体調管理に充分ご留意のうえ、お過ごしください。

(2月15日執筆)